

公明*こうち

市議会ニュース

発行所/高知市議会公明党
 住所/〒780-0870
 高知市本町5丁目1番45号
 TEL: 088-823-9403
 FAX: 088-871-2485

 2008年(平成20年)4月15日 第4号
 NEW KOMIYO
 高知市議会  公明党

第407回

高知市議会
定例会

平成20年度

当初予算議会
代表質問・個人質問で3議員が熱弁をふるう!



中野 城久 議員

中野城久議員は、代表質問に立ち、わが公明党は、毎年、予算要望をしているが、平成20年度の当初予算に、どのような変更が反映されているかを伺いました。それに対して、岡村市長は「具体的に不登校対策や学力向上の取り組みなどの教育施設、自治体民組織の育成強化や通学通歩体制の整備、自給自足の都市づくりの推進など、経団連基盤整備としての短期間追加補正予算案、さらに産業振興策としての産業活性化北九州の企業入札制度の見直し、健康福祉施設における待合あんしんセンターの整備や妊産婦無料健診の充実など、要望書を通じ、追加された多くの施策を新年度予算案に反映させていきます。また、また、(仮定の施策のうち)、結果として、20年度に予算措置できないものもあろうますが、今後とも必要な施策として受け止めており、施策の実施に向けて引き続き検討していきます」と答弁しました。

紙1)財政状況について、市民一人当たりの借入額を質問するとともに、「財政情報開示分が早く市民に知らせるため、借入金計を市のホームページに掲載」とは、この提案案に対し、本市は「国や市を通じた市民一人の借入金額は89億7千万円、借入総計は、では20年度に公開したい旨の答弁がありました。

児童福祉について、「重大なものは子どもの命であり、大人の都合で悪い生命を脅かすとはいけない」と糾弾しました。

岡村市長は「児童虐待の防止におきまして最も大切なことは子どもの命を守ることです。児童虐待は、児童福祉や人権の観点から行政としてもしっかりと見越してこざるを得ないものであります。児童相談所との連携により強化し、確保済み児童を地域協議会や保健師、実子に積極的に取り組んでいく」と答弁しました。



西森 美和 議員

西森美和議員は、親行政に子ども支援教育行政について質問を行いました。まず本年3月にはなりましたが、市が、持続性・発展性のあるものになるよう、近隣市や市町との連携も含め取り組みを貫きました。

子育て支援について、本年4月から実施される妊娠2週健診の公表責任の適用期間について質問し、執行部より「4月1日の時点で妊娠中の方すべてを対象とし、昨年と比較された方については後個別に交付していく」との答弁がありました。続いて本年4月から実施されている乳がん検診全戸訪問調査について、産婦を未然に防ぐという観点から大変重要であることと訴え、その具体的な立入りや観点から質問し、また、さらに社会を挙げていく「発がん率」の早期発見早期治療を促すこと、5歳児健診等の実施を強く要望し、執行部から「程度保証できる早期療育体制の整備について、今後も保育所や幼稚園、療育関係機関と連携しながら拡充を図っていく」との答弁がありました。

また食育の全市的取り組みに関する質問では教育委員会から、食育の実践・発表の機会がすべての小学校に与えられるよう推進することや、その実践の継続にむけて力をいれているとの答弁がありました。特にこの取り組みで発表された子ども達がつくった地元野菜の取寄せ、地産地消の取り組みのひろくへと配布を、とほよほかの提案に対して、市長は今後強化して学校や関係機関へ配布するとともに、地産地消しや食育等で活用して頂くよう提案を、と答弁しました。さらに食育に関する市庁舎ネットワークの構築を促しました。

最後に教育行政について、学力向上にむけてさらなる取り組みを要望するとともに、熱中症対策をはじめとした学校現場の健康管理についても、熱中症対策をはじめとした取り組みを促しました。



岡村 康良 議員

岡村康良議員は、公明党の立場から市長の政治姿勢、財政の健全化や産業振興の促進について安全・安心なまごづくりに公明党政策等々を述べ、現場の視点で政策提言や先進市の事例の紹介も交え、最後に個人質問を致しました。

まず「新四国をリードする百万都市を標榜する岡村市長の政治姿勢では、「根拠をリードして、くだけた言われた論議に基き、魅力ある政策で、功を果すだけでなく、高知市の未来をしっかりと見据え取り組むよう」と、又副総合計画策受の期待も込め強く要望致しました。

また、東証上場化が求められる行政財務については、通商銀行グループ、行政健全化法に財務の善い、節減は、外部団体における赤字経営による特別負担率が増加化の影響が危惧されることから、民間の移譲も求めた早急な対応を求め、追加・充實の補填を、併用と共々、専ら場の拡大、食の安全・食育の推進等の観点から、整えられた風土を併せとした積極的策を基本とする関係地産地産の振興、併せて太陽光や風力、バイオガスによるエネルギー、新エネルギー・産業用電源などに積極的に取り組むよう、このまでの進捗と経過を踏まえ、高知市を促しました。執行部からは「積極的に検討し取り組む旨の答弁がありました。さらに、南海線延伸に伴う安全・安心なまごづくりに関する具体的な減災目標の内容や実施時期について質問したのに対し、岡の減災目標や出の減災目標と整合性を図り20年度目標として8月1日までの予定」と説明しました。また、本市における児童虐待の現状及び対応について市民協会の引いた、事件の発生状況と対策、併せて市民協会のボランティア等による活動状況等について学校施設での危機場所の点検や安全指導等について質問し、それぞれ、実現に向けて対応を促しました」との答弁がありました。

また、本市における児童虐待の現状及び対応について市民協会の引いた、事件の発生状況と対策、併せて市民協会のボランティア等による活動状況等について学校施設での危機場所の点検や安全指導等について質問し、それぞれ、実現に向けて対応を促しました」との答弁がありました。

公明党の推進により、それぞれの制度が 4月からスタートしました

4月から「高額医療・高額介護合算制度」が
スタートしました!

■高額合算制度の自己負担程度額

加入医療保険	後期高齢者 医療制度	被用者保険または 国保(70歳~74歳)	被用者保険または 国保(75歳未満)
現役並み所得者 (夫婦で年収520万円以上)	67万	67万	126万
一般	56万	56万	67万
低所得者 (住民税非課税)	31万	31万	34万
年金収入80万円以下	19万	19万	34万

11年振りに「自賠責保険料」が
引き下げられました!

■自賠責保険料

車種	現行	4月1日からの 保険料	引き下げ額
自家用普通自動車	30,830円	22,470円	△8,360円
自家用軽自動車	25,000円	18,980円	△6,020円
自家用軽トラック	25,000円	18,980円	△6,020円
オートバイ (250cc超)	20,240円	13,400円	△6,840円
原付自転車	10,140円	8,790円	△1,350円
タクシー (大都市圏以外)	94,330円	75,180円	△19,150円
普通貨物営業用車	70,650円	49,040円	△21,610円
乗合営業用車	64,760円	43,650円	△21,110円

妊産婦無料健診が2回から5回になりました!

- 対象者:平成20年4月1日現在で、妊娠中すべての妊産婦の方
- 受診票の受け取りについて
☆4月1日以降に母子健康手帳をもらう方は、その際に新様式の受診票をお渡しします
☆昨年、母子健康手帳を受け取った方は、新様式の受診票を個人に返付しています
- 旧・新の受診票の使い方について
☆旧・新あわせて最大5回まで受診できます

問い合わせ先▶高知市健康づくり課 823-9436

体験学習の拠点

「工石山青少年の家」が リニューアルオープン

「工石山青少年の家」は、市議会公明党が生産学習と青少年の育成を図る観点から予算要望をしてきましたが、20年3月18日に改修工事が完了し、リニューアルオープンしました。



ひだまり

つい先日、近くの書店にふらりと顔を出してみたら、各書籍コーナーには、様々なサイズの本が並べられていました。

その中でも最近、流行語大賞にもなった、「品格」をタイトルにした品格本コーナーに、足を止め、青筋を打つほどの読者が多く見受けられました。

なぜか?

「品格」の意味を辞書で調べてみると、「その人やその物に感じられる気高さや上品さ、品性」とあります。「品格」は、「負け組」と称される世にうて「勝てば官軍」的な考え方をする人は多いと思うし、否定はしません。

では、負け組者は……勝者の真の善性は、敗者への同苦と、それ以上に「品格」が込められていなければ、至福の極みを得られるのではないかと感じます。

混乱を極める政界、政策論争もさることながら、政治家の「品格」こそが、今一番問われているのではないのでしょうか。